

## 歴史文化資料の保存活用と通り名等の表示、 歴史的先人の顕彰について（改訂継続）

桐生市には、歴史文化の貴重な資料や重伝建地区をはじめとする市内各所に歴史的通り名（古道含む）が付いた通りや路地などが数多く存在しています。しかしながら、これらの収蔵と継承、及び活用は充分といえず、喪失や流出のリスクは大きいのが現状です。桐生市の観光の元となる貴重な資料の公開の道筋も視野に入れた、適切な保存・研究する拠点づくりをお願いすると共に、通り名を調査していただき来桐者に分かりやすく表示することで、まちの資源として活用できると考えます。これらは道路や公共物に於いての表示設置が考えられ、行政がこの価値を認識し、市民と連携しての推進をお願いします。

また、桐生の文化や産業を育んできた、先人の業績の研究、顕彰することは必要です。

とくに、桐生市で晩年を過ごした、戦後文学を代表する作家・坂口安吾の功績を顕彰し、ゆかりのある重伝建地区内に、情報発信をするための拠点づくりをお願いいたします。

### 桐生市からの回答

古くから地域に伝承されてきた「通り名」を表示し、それらを周知していくことは、来桐者に地域の歴史や伝統に関する理解を深めていただくことができ、まちの資源としても活用が図れるものと考えております。

古くから地元の方々に親しまれてきた「通り名」の歴史を紐解き、それらの情報をどのように表示していくのが望ましいか、その見せ方などについても研究を進める必要性を感じております。

まずは、周辺景観に配慮した道路の美装化整備などを行った、桐生新町伝統的建造物群保存地区及びその周辺地区にある「通り名」から調査を進め、地域の歴史や伝統文化を認識していただけるよう、その表示手法なども含め、市民と連携しながら検討を進めていきたいと考えております。

[回答担当] 都市整備部都市計画課歴まち・街路係

市内の歴史文化を伝える貴重な資料の存在について、本市でも可能な限り収蔵及び保存並びに研究に引き続き努めているところであります。また、資料の公開・保存・研究の拠点づくりにつきましては、国や県、庁内の関係部局、関係する市民団体等と連携を図りながら、研究してまいりたいと考えております。

[回答担当] 教育部文化財保護課文化財保護係

桐生市には、江戸時代以降、町の主要産業であった織物業に関わる歴史資料が、今日でも数多く残されております。歴史資料に限らず、農機具や養蚕道具をはじめとした民具といった民俗資料なども含めて、それらは今日まで伝えてきた家で、今後にも亘っても大切に伝えられていくことが本来あるべき姿だと考えますが、近年の新しい家族形態や住宅事情

などの影響もあり、それらが所蔵者の元から流出や散逸するといった、由々しき事態に直面していることもまた事実といえます。

桐生市では、令和4年度から取り組んでいる市史編さん事業において、史資料の散逸・滅失を防ぎ、貴重な文化遺産の未来への継承を目指すことを基本方針として掲げ、調査研究を進めております。

しかしながら、編さん事業の中でお預かりした貴重な資料を収蔵、公開するためには、展示を行うための適切な空間に加え、史資料の状態を常に一定に保てる空調施設を完備した収蔵庫といった施設はもとより、専門の職員の配置が必要となるなど、検討しなくてはならない課題も多くあります。これらの問題については、今後、編さん事業を進めていく中で、様々な可能性を研究してまいりたいと考えております。

また、郷土の先人達の業績を顕彰することにつきましては、編さん事業に係る調査研究を進める中で、その活躍を適宜取り上げて紹介していくことなどを通じて、敬意を込めて顕彰すべきという市民の皆様の声を醸成する一助になればと考えております。

[回答担当] 市民生活部市史編さん室市史編さん担当

桐生市は坂口安吾が晩年を過ごしたゆかりの地であり、情報発信するための拠点づくりのご要望については十分理解いたします。

しかしながら、拠点の設置に関しましては、施設のあり方、財源、管理についてなど、多くの解決すべき課題があり、関係部局と協議しながら研究してまいりたいと考えております。

[回答担当] 市民生活部スポーツ・文化振興課文化振興担当